



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

ジャニーズ事務所から5億円の寄付

「Johnny's Smile Up! Project 基金」設立へ

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、医療・福祉の最前線で看護職は感染者のケアや予防にあたっています。

こうした状況の中、公益社団法人日本看護協会（会長：福井トシ子、会員76万人）は、株式会社ジャニーズ事務所の社会貢献活動「Johnny's Smile Up! Project」の一環として500,000,000円の寄付を受領しました。本会は寄付金で「Johnny's Smile Up! Project 基金」を設立し、新型コロナウイルス感染症の対応においても幅広く活躍する認定看護師の育成に関する事業や、看護学生の支援として看護師等学校養成所への支援事業に役立てます。

12月21日（月）には、同事務所の関ジャニ∞の5人をお迎えし、日本看護協会 JNA ホールで感謝状の贈呈式を実施しました。

贈呈式では、福井会長が「今回このようなご支援をいただいたこと自体が、全国の看護職にとって大きな励みになると思う」とあいさつ。関ジャニ∞を代表して村上信五さんは「微力ではございますが、これからも看護職の皆さんをはじめ、医療従事者の皆さんの笑顔と明るい未来のお役に立てるように頑張っていきたい」と述べました。その後、村上さんから福井会長に目録が手渡され、福井会長からは感謝状を贈呈しました。

報道関係の皆さまにおかれましては、同事務所からの寄付と基金の趣旨をご理解いただき、さまざまな機会にご紹介いただきますよう、お願い申し上げます。



福井会長に目録を渡す
村上さん



関ジャニ∞の5人と福井会長



贈呈後、歓談も行った